

JCHO 福井勝山総合病院 地域協議会 第 17 回 議事録

開催日 令和 6 年 2 月 27 日 (火) 13:00~14:00

開催場所 病院 2 階講堂

出席者 高木委員、木船委員、加藤委員、小林委員、高井委員、大久保委員、米村委員、
須藤委員

院長挨拶の後、次の議題について協議した。

1. 令和 6 年能登半島地震における対応

地震発生時の院内での対応、石川県への DMAT の派遣、被災地医療機関からの入院患者の受入れ、JCHO 金沢病院への介護職員の派遣について説明を行う。

【ご意見】

外部委員 Q: DMAT の派遣は JCHO 独自の派遣だったのでしょうか。

当院委員 A: 福井県からの依頼で派遣を行いました。

外部委員 Q: DMAT チームの構成を教えてください。

当院委員 A: 第 1 回目の派遣では医師 1 名、看護師 2 名、薬剤師 1 名、理学療法士 1 名、
第 2 回目の派遣では医師 1 名、看護師 2 名、事務職員 2 名の派遣を行いました。

外部委員 Q: 介護福祉士は 1 人あたり何日ほど派遣したのでしょうか。

当院委員 A: JCHO 金沢病院への介護福祉士の派遣については、交代ではなく 1 人の職員が
1 月 15 日から 2 月 10 日まで継続的に対応しておりました。

外部委員 Q: 知事会の要請では福井県は珠洲市を支援することとなっていたが今回の支援
先が少し異なっているようですがどのような経緯になるのでしょうか。

外部委員 A: おっしゃられるとおり福井県は珠洲市となっております。ただ様々な協会
によっては支援先が異なったりもすることから、医療機関についても支援先
が異なっていたのではないかと思います。

外部委員 A: 基本的には被災県からの指示により動くことが多いです。また、受援側のニ
ーズにより振り分けが行われることが通常多いようです。

外部委員 Q: 今回の地震のようなことが起きたときのシミュレーションをされたりするの
でしょうか。

当院委員 A: 当院でも BCP を作成し毎年訓練を行っておりますが主に火災が発生した場合
の訓練が中心となっております。地震が起きた場合の訓練については今後検討
してまいります。

外部委員 Q： 災害が発生した際に職員が病院へ参集する基準はあるのでしょうか。また、アクションカードはあるのでしょうか。

当院委員 A： 震度 5 強以上で参集となっております。ただしこのことが職員全員に周知されているか、職員の安否確認をどうするかなど今回改めて課題として出てきております。看護においてですが、アクションカードはあるもののコロナ禍で訓練の規模を縮小しており、今後地域も含めた防災訓練ができるよう見直しを行っている状況です。

外部委員 Q： 今回の災害がある意味ではいい訓練になったかと思えます。臨機応変の対応などは実際に訓練をしないと分からない部分もあります。状況が悪いから訓練が出来ないではなく状況が悪いからこそ訓練を行わないといけないと思えます。もし助言等が必要であればご協力させていただきます。

当院委員 A： ありがとうございます。是非よろしく願いいたします。コロナ禍になったことで訓練も不十分な状況ではありましたので、見直しを行い来年度訓練を行っていきたいと思えます。

2. 小児科常勤医師の確保

常勤の小児科医師が復職したこと現在の小児科の診療体制について説明を行う。

【ご意見】

なし

3. マイナ保険証の積極的な利用促進

マイナンバー法等の一部改正を受け、マイナ保険証の利用促進のための当院の対応について説明を行う。

【ご意見】

外部委員 Q： 令和 6 年 12 月に一度に切り替わってしまうのでしょうか。

外部委員 A： 経過措置があるのでしばらくは並行して健康保険証とマイナ保険証が使用される形になると考えます。

外部委員 Q： マイナ保険証ですが将来的に病院のレセコンと連動するとなるとマイナ保険証を持ってこないと診察が出来ないことになるのでしょうか。

当院委員 A： 現在当院のシステムにおいては健康保険証を忘れた場合は自費という取扱いで受付をして診察を行っています。ただし、救急外来などでマイナ保険証の認証が出来ない場合などにどういう対応を行うかなど今後の課題であると感じております。

外部委員 Q： 病院ではどれくらいの方がマイナ保険証を利用されているのでしょうか。

当院委員 A： 現状、利用率としては2～3%ほどです。まだまだ普及が進んでいない状況です。

外部委員 Q： 現在は受付するときには診察カードと保険証を使用しているが、今後はマイナ保険証だけで受付が可能となるのでしょうか。

当院委員 A： マイナ保険証を診察カードの代わりとして使用するには再来受付機等のシステム改修が必要ではありますが、将来的には一体化していくようになるかと存じます。

4. 市民公開講座の開催

令和6年3月16日に開催予定の市民公開講座について説明を行う。

【ご意見】

なし

5. 健康サロン・出張出前講座の開催

健康サロン・出張出前講座の活動について説明を行う。

【ご意見】

なし

6. ICLS コースの開催

ICLS コースの開催について説明を行う。

【ご意見】

なし

7. 意見交換

【ご意見】

外部委員 Q： 前回7月の地域協議会の際に勝山市のふるさと納税の返礼品として人間ドックが掲載されたとのことでしたが申し込みはありましたでしょうか。

当院委員 A： 2件の申し込みがありました。

外部委員 Q： 能登半島地震で被災地より老健施設への受け入れ可能数を3名と回答されたとのことでしたが、現在入所された方はいらっしゃるのでしょうか。

当院委員 A： 受け入れ実績は無いです。しかしながら病院へ受入し回復した方で1名老健への入所を希望されている方がおられるため現在調整中です。

外部委員 A：新型コロナウイルスが 5 類感染症に移行しましたが、当クリニックでの対応としては 5 類感染症以前と同じように防護着を着用し院外で検査を行っております。なかなか正解は無いかと思いますが、貴院ではどのような体制で診療をされているのかまた、今後どうなっていくのかご意見がありましたら教えてもらえないでしょうか。

当院委員 A：当院としても 5 類感染症以前と同じような対応を行っているのが現状であります。発熱している患者様におかれましては病院の外で新型コロナウイルスとインフルエンザの検査を行った後に診療を行っています。当院では高齢の入院患者が多く院内感染には十分注意が必要です。当面は現状の対応を続けることもやむを得ないかと思えます。今後については、他の医療機関の動向を踏まえて当院の対応を決めていきたいと存じます。